あさも

建築士事務所　附録　協会ニュース

2023年
1・2月号

建物名称　那賀休日急患診療所
設計・監理　建築デザイン空創　中谷　隆志
施　工　者　株式会社　藤平組
建築場所　紀の川市東大井366番地1
構造・延べ床面積・建築面積
鉄骨造　2階建　412.70㎡　259.24㎡

概略（解説）

那賀休日急患診療所経営事務組合の新しい施設。始まりは昭和49年、和歌山県下第1号の休日急患診療所として、旧那賀郡（岩出市・紀の川市）の患者を診療して来ました。そうして、長年活躍して来た建築も、老朽化、地域の変わりゆく先にあるべき姿、今後起こりうる災害に耐え、対策拠点になる建築に生まれ変わる為、移転・新築の計画が進みました。

設計のコンセプトとして、誰もが安心して利用できる空間創りをはじめとし、そこに携わる従事者が円滑に利用できるようにと考えました。外観・内観のデザインは、周囲になじみ、少しばかり、既存那賀病院をオマージュしつつも新しく、利用者が安心できる色使い等、様々に工夫を凝らした。
この施設が末永く、住民を守れる事を願っています。

※表紙写真を募集しています。掲載料を無料としていますので、どしどしご応募ください。会員の皆様の作品を順次紹介していきたいと思います。随時事務局で受付中!!

I　N　D　E　X

◆ 新年のご挨拶
◆ 協会のうごき
◆ 事務局・委員会報告
◆ インフォメーション
◆ トピックス
◆ 協会ホームページのお知らせ
◆ 日事連からのお知らせ
◆ 賛助会員さんの動き
小松ウオール工業株式会社さん
安井管材株式会社さん
◆ 広告
◆ オフタイム
◆ 編集後記

わかやま建事協

令和5年1月15日発行　通号599号　建築士事務所附録　あさも371号（隔月1回15日発行）　昭和40年7月28日第3種郵便物認可 ISSN 0386-6483

VOL.42　No.371

新年のご挨拶

一般社団法人　和歌山県建築士事務所協会
会長　尾　添　信　行

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて３年前から日本全国を翻弄してきた、新型コロナウィルスは、人間社会を見透かしたように、５回目の予防ワクチン接種にもかかわらず、ウィルスの形を変え、ＢＡ５からＢＡ2.75（ケンタウロス）に置き換わろうとしています。昨年末には和歌山県下でも、感染者数が２千人を超え、その後も1500人程度の高い感染者数が報告されました。しかし乍らワクチン効果もあってか感染しても軽症で済むことが多く恐れることがなくなり対策をしっかり講じれば日常生活に支障をきたさないことも学んだと思います。我々協会におきましても、各委員会はもちろん、理事会でもWEB会議を併用して対応してまいりました。また昨年末には、賛助会員との忘年会・忘年ゴルフコンペを開催することができました。当協会では、ウィズコロナ仕様での活動を目指してより活発な事業を引き続き推進してまいりたいと考えております。

昨年一年間で、震度５弱以上の地震が日本各地で多発しており、こんなところでという地域での発生もみられます。南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺の海溝型地震、首都直下地震などの発生が切迫した状態の中、数年前から緊急避難路となる幹線道路の沿線建物の耐震化を図るよう県市に要望してまいりましたが県では緊急輸送道路を指定し、その沿道建物の耐震化を進めていく事となりました。耐震診断の補助率を100％として今年の３月末までを期限に対象建築物の耐震診断を義務化にしその対応をしてまいりました。当協会では防災・耐震対策委員会を中心に、この対象建築物の事業主に対し相談窓口を開設し、耐震診断のできる建築士事務所を紹介し耐震診断100％を目標に積極的に協力してまいりました。

また県市に対して入札要件の緩和を要望してまいりましたが、県では採用していただき会員の皆様が先ず土俵に乗ることができ、応札の機会が増えることになりました。未だ最低制限価格のない市町村には、引き続き要望してまいりたいと思っています。

また地球温暖化対策は待ったなしの課題であり、2050年カーボンニュートラルの実現、気候変動への対応など、グリーン社会の実現は、我が国の重要な政策課題となっております。

炭素を貯蔵する木材の積極的な利用を図ることは大変重要です。現在、低層住宅においては約８割が木造である一方、非　住宅・中高層建築物においては木造の割合が１割未満であり、この分野の新たな工法・技術等における普及とこれらを担う設計者の育成が課題であると考えます。

当協会では、木材利用促進法に基づき、県内市町村公共施設の木造化や内装等の木質化を推進しようと、県と一体となって市町村担当者を対象とした相談窓口を開設して対応しております。

この相談窓口につきましても、自らも県内各市町村をくまなく廻り、積極的に各首長様にPRしているところです。

まだまだ、コロナの影響を受けるかもしれませんが、会員の皆様の協力を得ながら今年の活動を実効性のあるものにすべく頑張っていきたいと思っております。

皆様のご多幸をご祈念申し上げ新年のあいさつといたします。

新春のご挨拶

和歌山県県土整備部都市住宅局
建築住宅課長　前　山　勝　彦

新年おめでとうございます。

一般社団法人和歌山県建築士事務所協会の皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

また、日頃から本県の建築住宅行政に関し、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに御礼を申し上げると共に、建築物の設計や工事監理等の業務の適正化に大いに貢献をされておりますことに心から敬意を表します。

昨年末、仁坂吉伸前知事の任期満了により4期16年の仁坂県政の幕が閉じました。この間、2011年の紀伊半島大水害のおける住家被害認定や相談対応、2013年の耐震改修促進法改正に伴うホテル・旅館等の大規模建築物や沿道建築物の耐震化、2018年の大阪北部地震被害をブロック塀の緊急点検など、皆様の県施策へのご協力により迅速な災害対応、安全・安心なまちづくりを促進することができました。

これからは新しいリーダーである岸本周平新知事のもと、更なる県勢の発展と元気な和歌山の実現を目指してまいりますので引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

住宅・建築物対策の今後についてですが、地球温暖化対策として、国は2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向け、2030年に温室効果ガスを2013年比で46%削減する高い目標を設定し、省エネ対策の強化や再エネ・未利用エネルギーの利用拡大を図ることとされました。この目標に向け「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」の改正により、2025年には原則、住宅を含むすべての建築物の省エネ基準への適合義務化が図れられます。加えて2030年までに省エネ基準の段階的な引き上げが予定されています。

このほか、木材利用の促進のため建築基準法の合理化が行われていきます。今後、ますます皆様の高度な知見や経験が不可欠となります。

県民の皆様の生活環境の向上、安全・安心の確保等のため引き続きご尽力いただきますようお願いします。

結びに、貴協会と会員の皆様方のご多幸・ご活躍を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新　年　挨　拶

和歌山市都市建設局都市計画部
建築指導課長　森　　隆　紀

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。日頃から和歌山市の建築行政の推進に対して、格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

新型コロナウィルス感染症も第８波が警戒される中、日常生活が戻りつつある一方で、マスクや手洗い等の感染対策が求められる生活が続いております。また、ウクライナ情勢や物価高騰など先行きが見えないニュースもありました。そのような中、昨年末にはサッカーワールドカップにおいて日本が強豪国を破り予選を１位で通過するといった明るいニュースに元気づけられました。当たり前だった日常生活に一日でも早く戻るよう願っております。

さて、県が指定する避難路沿道建築物の耐震診断の義務化に対し、会員の皆さまのご協力を得ることで、一定の目途が立ちました。締め切りまでもう少しありますが、この場を借りてお礼申し上げます。和歌山市では、人命を守ることを最優先とした「安全・安心な住まいづくり・まちづくり」を実現していきたいと考えています。

また、昨年は「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」等の一部が改正されました。それらの中で今年は「省エネ改修や再エネ設備の導入に支障となる高さ制限等の合理化」等が施行される予定となっています。一例を上げますと、屋根の断熱改修や屋上への再エネ設備の設置を行う場合、建築物の高さが増加することにより高さの制限に抵触し、改修が困難であったものに対する特例許可制度が創設されますので、計画がある際は、相談いただければ幸いです。その他にも省エネに関するものが順次施行されることから益々建築物の省エネが重要になってまいります。

最後になりましたが、一般社団法人和歌山県建築士事務所協会の益々のご発展と会員の皆様方のご活躍を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

会務報告

開催日	行事名	備考
10月25日	木造住宅生産体制強化推進協議会	
10月27日	建築士定期講習会	
10月31日	木材利用推進キャラバン（古座川町、串本町）	
10月31日	木材利用推進キャラバン（有田市、広川町、有田川町）	
11月1日	木材利用推進キャラバン（湯浅町）	
11月2日	木材利用推進キャラバン（九度山町、かつらぎ町、高野町）	
11月4日	近畿ブロック協議会ゴルフコンペ（@大阪市）	
11月11日	木材利用推進キャラバン（海南市、紀美野町）	
11月15日	木材利用推進キャラバン（岩出市）	
11月15日	開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会	
11月18日	判定委員会（木造）	
11月18日	第７回耐震診断判定準備委員会	
11月22日	木材利用推進キャラバン（和歌山市）	
11月25日	木材利用推進キャラバン（御坊市、日高川町、印南町）	
11月28日	第７回耐震診断判定本委員会	
11月28日	木材利用推進キャラバン（美浜町、日高町、由良町、みなべ町）	
11月28日	木材利用推進キャラバン（紀の川市、北山村）	
11月30日	木材利用推進キャラバン（太地町、那智勝浦町、新宮市）	
12月2日	近畿ブロック協議会青年部会設立準備会（京都市）	
12月5日	近畿ブロック協議会（大阪市）	
12月6日	運営委員会	
12月6日	第 190 回理事会	
12月14日	全国会長会議（東京）	
12月15日	木材利用推進キャラバン（橋本市）	
12月15日	第８回耐震診断判定準備委員会	
12月16日	協会忘年会・忘年ゴルフコンペ	
12月22日	第７回耐震診断判定本委員会	

事務局・委員会報告

委員会名 （記録者名）	報告事項（お知らせなど）
運営委員会 （事務局）	令和５年度近畿ブロック例会の日程・場所及び実行委員長について ・Ｒ５.９.１(金）又はＲ５.９.８(金）で協議会に打診していくこととする。 ・場所は、白浜町内のコンベンションが可能なホテルとする。 ・上記については、事務局で費用面なども含め会場を検討する事として開催可否について再度検討する。 ・実行委員長については、西根副会長にお願いする。委員は、既に決定済の各委員会長、部会長で変更無し。
交流・会員委員会 （事務局）	12月６日に開催されました当協会の忘年会と忘年ゴルフコンペには、多くの正会員・賛助会員さんが参加いただきました。忘年会の総合司会を努めていただきました川広樹交流会員委員長さんご苦労様でした。 忘年会では、賛助会員さんの紹介などで交流を深めることができ、にぎやかな忘年会になったと思います。 ゴルフコンペの上位成績者は、次の通りです。 優　勝　　近藤　勝　さん（㈱ワイケー） 準優勝　　長谷川　薫（ドローンアーキテクチャー㈱） 三　位　　梶　正典（㈱梶工務店）
青年部会 （事務局）	当協会の青年部会は、コロナの関係などでなかなか活動はできておりませんが、近畿ブロック協議会では、各府県の青年部会等から代表者を募って近ブロ協議会青年部を発足しようと協議を重ねております。当協会でも城本担当副会長、川広樹青年部会長、井上委員が近畿ブロック協議会青年部会準備委員会に出席いただきこの度、近ブロ協議会青年部発足式典が開催される運びとなりました。 皆様にお知らせするとともに、当協会の青年部会が活発化できるきっかけになればと思います。

インフォメーション

建築士事務所の登録更新手続き

有効期間満了の30日前までに申請書の提出をしてください。（建築士法第23条第３項･規則第18条）

◆登録申請書には、その事務所の管理建築士が、「管理建築士講習」「建築士定期講習」を受けたことを証する書類等を添付してください。

◆令和５年１･２月中に更新手続きを必要とする会員事務所は下記のとおりです。

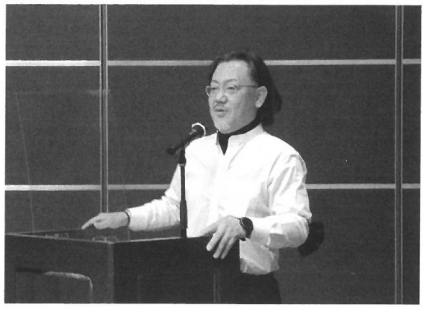
事 務 所 名	現登録番号	前回の登録日付	更新手続き
南方設計	(イ)684-9	H30.02.21	令和5年1月20日までに更新してください
三友工業㈱一級建築士事務所	(イ)160-14	H30.02.10	令和5年1月09日までに更新してください
大川一級建築士事務所	(ト)738-4	H30.03.14	令和5年2月13日までに更新してください
㈱かじもと一級建築士事務所	(リ)189	H30.03.23	令和5年2月22日までに更新してください
平一級建築設計事務所	(イ)430-11	H30.03.07	令和5年2月06日までに更新してください
辻上建築設計事務所	(ト)529-5	H30.03.20	令和5年2月19日までに更新してください
㈱夏山組一級建築士事務所	(イ)839-8	H30.03.24	令和5年2月23日までに更新してください
㈱山幸一級建築士事務所	(イ)551-10	H30.03.18	令和5年2月17日までに更新してください

トピックス

協会忘年会と忘年ゴルフコンペの様子です。

忘年ゴルフコンペ　開催場所：有田東急ゴルフクラブ　スタート：レッド、ブルー各3組　9:30

忘年会　開催日時：12月16日　18:30～　開催場所：ホテルグランヴィア



協会ホームページのお知らせ

1　会員ページ　ID・パスワードの変更

①　共通　ID・パスワード

1月末まで　ID　：wakayama-jikyo
　　パスワード：monday

2月・3月　ID　：wakayama-jikyo
　　パスワード：tuesday

②　個別　ID・パスワード

個別のID・パスワードを設定できます。設定は事務局でおこないますので、
ご自分で決めたID・パスワードをメールでご連絡ください。

2　バナー広告募集中

広告掲載料：年間 24,000 円
掲載方法等の詳細は、事務局までお問い合わせください。

2023年2月上旬
募集スタート！

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会の会員で
まだ建賠保険に加入されていない皆さまへ

日事連・建築士事務所賠償責任保険〈建築家賠償責任保険〉

2023年度 団体保険 新規募集のご案内

《保険期間：2023年4月1日(土)16時～2024年4月1日(月)16時》

注目!! 損害拡大防止補償（オプションプラン）

建物の「瑕疵」が発覚し、滅失・破損が発生する前に
対策を講じた際の修補等の費用を補償します。

新規加入は2023年3月20日まで受付中！

●中途加入を毎月1日補償開始で受付ております。毎月25日までに
お申込み～保険料ご入金で翌月1日から補償開始可能です。

●加入手続きは、Web申込ができます。（会員限定）
詳しい補償内容や保険料試算等も下記よりお手続きください。

日事連サービス　クリック

詳細は日事連サービスの

ホームページトップ画面 ▶ 建賠保険の加入検討中の方へお知らせ ▶ WEB申込み操作マニュアル をご覧ください。

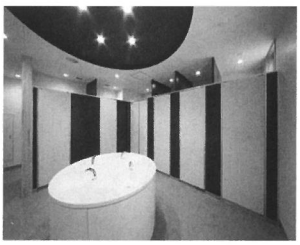
既加入者には、1月下旬以降更新手続きについて個別にご案内いたします。

賛助会員さんの動き

会社名	小松ウオール工業株式会社
代表者	支店長　　上田　貴人
所在地	和歌山市岩橋字宮ノ段997-1
TEL/FAX	TEL073-473-7811/FAX073-473-8422
担当者	中上　雄介
Email	y.nakaue@komatsuwall.co.jp
Web	https://www.komatsuwall.co.jp/
業　種	一般建設業（内装仕上工事業・建具工事業）
会社概要	当社は、国内に50箇所を超える営業拠点があり各拠点にショールームを併設し自信を持って当社の製品をお客様に提案いたします。また、製品の取付工事は施工サービス部が担当することで、施工品質の向上を図っております。 製品の提案・受注から設計、製造、施工、サービスまで自社でこなせる「自社一貫システム」を構築しお客様のさらなる満足や優れた品質を創造するために小松ウオールの挑戦は続きます。

会社のいちおし!!!

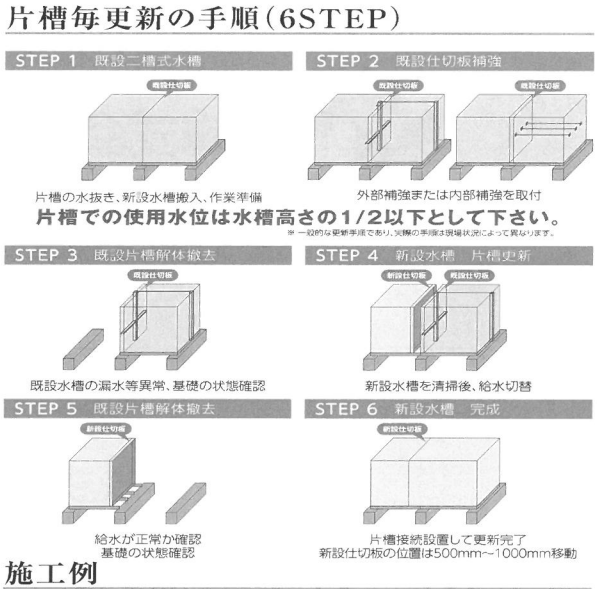
仕切るという日本の文化が色濃く残ったもの。それが間仕切であり、私たちは空間を間仕切る製品を作っています。
間仕切から派生した製品も取り揃えており、空間づくりに役立つ製品をオフィスや商業施設はもちろんホテルや学校、病院、福祉施設などに納入してきました。
これからも小松ウオールは、デザイン性・機能性・バリアフリー性等の基本性能に加え、時代の変化に対応し高品質で多様な製品の開発に力を注いでまいります。



会社名	安井管材株式会社
代表者	安井　敏也
所在地	和歌山市美園町2丁目158
TEL/FAX	TEL073-436-3511/FAX073-426-2006
担当者	森鎌　聡
Email	morikama@yasukan-kk.com
Web	http://www.yasukan-kk.com
業　種	建築設備資材販売
会社概要	弊社は、あらゆる機械設備・プラント設備・管工機材の販売及びメンテナスまでお客様の設備のご提案、サポートをさせて頂いている企業です。

会社のいちおし!!!

受水槽（給水タンク）は適切なメンテナンスを行っても長期使用による強度低下が発生し、震災時の危険性がさらに高まります。
既設水槽が2槽式の場合に断水が出来ない、仮設水槽の設置スペースが無い等の施工が難しそうな場所でも片槽毎更新工法で片槽を使用しながら更新することができます。
メリット　断水不要・既設設置スペース利用・更新期間短縮



建設コンサルタント
補償コンサルタント

OKAMOTO

株式会社 **岡本設計**

代表取締役　坂本暁史

〒640-8256 和歌山市土佐町2丁目61番地の9
電話(073)426-3151番(代)　FAX(073)426-3155
御坊事務所　御坊市薗337－3番地　TEL (0738) 22－8768
田辺事務所　田辺市上の山1丁目16番3号　TEL (0739) 24－1823

人と環境のハーモニー

Asakawa

株式会社 浅川組

ISO 9001
MSA-QS-3072

ISO 14001
MSA-ES-246

取締役社長　池内茂雄

本　　社　和歌山市小松原通三丁目69番地　TEL 073-423-7161　FAX 073-436-3675
http://www.asakawagumi.co.jp/
東京支店　東京都品川区南大井六丁目12番13号(浅川ビル内)
大阪支店　大阪市中央区東心斎橋一丁目2-17(第一住建　東心斎橋ビル4F)
営業所　紀北　田辺　串本　九州　広島　茨城　千葉

KOMURA GROUP

株式会社 **コムラ**

和歌山市西浜1047番地の6　TEL.073-444-6316
硝子建材部（板硝子、鋼製建具、化成品、広告資材、卸売）
ビル建材部（ビル用サッシ、硝子、金物、設計施工）TEL.073-444-5115
不動産部（賃貸マンション経営）TEL.073-446-3101

SHINKO

株式会社 シンコウ設備

代表取締役　池　徹哉

〒640-8392 和歌山市中之島1777-2
TEL 073-432-7535　FAX 073-432-6530
E-mail : k-sinkou@eos.ocn.ne.jp

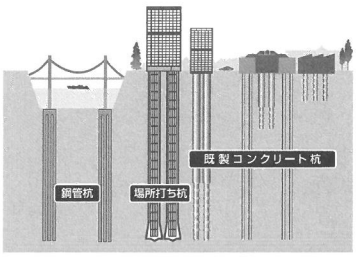
IWAHASHI

株式会社 岩橋設計

代表取締役　岩橋重文

〒640-8392　和歌山市中之島1672番地
電　話 (073) 431－7859
FAX (073) 431－7898
URL : http://www.iks140.jp　E-mail : iwahashi@iks140.jp

総合的な基礎建設会社である『**ジャパンパイル株式会社**』は、
皆様に信頼される建物基礎を提供させて頂きます
業界最大の品揃えをもち、複雑な地盤と建物条件に応じた最適な基礎を提案いたします。



ジャパンパイル株式会社
http://www.japanpile.co.jp/

■関 西 支 店：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1-6-10 豊田日生北浜ビル2F
TEL.06-6226-1191 FAX.06-6227-4191
■京都営業所：〒606-8385 京都市左京区川端通二条下ル孫橋町23 SAMURAIビル4F
TEL.075-751-0829 FAX.075-751-0668
■東 京 本 社：〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町36-2 Daiwaリバーゲート
TEL.03-5843-4192 FAX.03-5651-0192

「麻生」の地盤改良は、深層・中層混合処理工法で様々な条件に対応
できる多様な工法を取り揃えております。
設計から施工まで、最適なご提案をしてまいります。

麻生フオームクリート株式会社 大阪支店

お問い合わせはホームページまで http://www.asofoam.co.jp
〒567-0868 大阪府茨木市沢良宜西４丁目15番14号
電話 072-635-1077 FAX 072-635-1243

《営業種目》 各種既製コンクリート杭（プレボーリング・中掘り・打撃等）、鋼管杭（プレボーリング・中掘り・打撃・回転圧入等）、地盤改良（浅層・中層・深層）、場所打杭（アースドリル・オールケーシング）、既存杭撤去（破砕・杭抜き）、障害撤去・岩盤掘削（ロック、オールケーシング）、山留（H鋼・鋼矢板・SMW・支保工）、仮設（構台・桟橋等）、土工事（外構・舗装等）

総合建設業・土木建築基礎計画施工
西村工業株式会社
代表取締役 西村 和浩
http://www.nishimurakougyou.co.jp
○本 社 〒640-8287 和歌山県和歌山市築港 5-7-4
TEL 073-431-8191 FAX 073-423-8866
○大阪営業所 〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋一丁目3番27-704号
TEL 06-6245-5551 FAX 06-6245-5502
○機材センター 〒640-8452 和歌山県和歌山市梅原馬居谷637-19
TEL 073-453-7624 FAX 073-452-9394

GEMINI SEKKEI INC
株式会社 ジェミニ設計
代表取締役 西根裕晴

〒649-6434 和歌山県紀の川市中三谷100 コーラルリーフ3F
TEL.0736-67-7980 FAX.0736-67-7981
E-mail info@gem-sekkei.com

TERAMAE
http://www.teramae.jp
(株)寺前則彦設計室
代表取締役 久岡政弘
〒649-1528 和歌山県日高郡印南町西ノ地1162-1 TEL 0738-43-0477(代)

住宅・店舗・事務所等の企画・設計・施工

株式会社 アフターケアー級建築士事務所

代表取締役 尾添信行

〒640-8004 和歌山市東旅籠町3番地
TEL.073-407-1854 FAX.073-407-1854
E-mail:aftercare_ozoen@yahoo.co.jp

土木・建築資材一式 他

株式会社 酒直

〒640-8150 和歌山市十三番丁30番地
電話番号 073-431-1237（建材部和歌山支店）
FAX番号 073-431-8028

窓を考える会社 YKK ap®

YKK AP株式会社

和歌山支店 営業部 和歌山市吉田386 和歌山プラザビル2階 TEL.073-435-4103

土木建築工事／測量・調査・設計コンサルタント／一級建築士事務所

三友工業株式会社

代表取締役社長 矢部昌俊

本　　店 〒640-8404 和歌山市湊二丁目12番27号 ☎(073)455-3116(代)
支店・営業所 大阪支店・紀南営業所

株式会社 川建築事務所
KAWA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE

代表取締役 川 広樹

本社：和歌山県有田郡広川町広493-8 tel(0737)64-1800
和歌山事務所：和歌山市鳴神1046-5 tel(073)474-3660

NiSHiMiNE Constructor Inc.

株式会社　西峰工務店

本　　店　〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1296-1　TEL. 0739-42-3002　FAX. 0739-43-1764
田 辺 店　〒646-0015 和歌山県田辺市たきない町21-15
和歌山店　〒640-8441 和歌山県和歌山市栄谷976-326

ISO14001（環境）認証取得
ISO 9001（品質）認証取得

ARCHITECT PLANNING OFFICE
KUSAKA
有限会社
日下建築設計事務所
16 USHIMACHI WAKAYAMA-CITY

代表取締役
日 下 仁 志
HITOSHI KUSAKA

OFFICE.
〒640-8295 和歌山市南牛町16
PHONE. 073-428-1230
FAX. 073-428-1243
H.D.P. 090-1908-4311
E-mail:kusaka-h@nifty.com

株式会社 フ ジ 設 計
代表取締役 藤 田 貴 司
一級建築士
構造設計一級建築士

〒640-8354 和歌山市北ノ新地東ノ丁1番地
TEL.073-499-6727　FAX.073-499-6728
E-mail:fuxta1@skyblue.ocn.ne.jp

土地造成工事、土木工事、再生砕石・再生砂の製造販売、廃棄物処理業、自動車運送業
株式会社
和歌山建材リサイクルセンター
代表取締役　東　宗弘
〒641-0036　和歌山市西浜1660番地の331　TEL 073-446-3196　FAX 073-446-3250
https://wkrc.co.jp/　E-mail　daihyo@wkrc.co.jp

DO ONE'S BEST QUALITY
信頼は100余年の実績と誠実施工から
株式会社 小池組
〒640-8154 和歌山市六番丁26番地
TEL.073-422-2165　FAX.073-422-5670
http://koikegumi.net

オフタイム

(株)かじもと一級建築士事務所　梶本　幸嗣

新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。
（株)かじもとの梶本幸嗣です。
私も今後とも微力ながら頑張らさせて頂きます。
新年早々のオフタイムですが、雄湊地区の消防分団シリーズです。このシリーズも、今回ではや第3弾になりました。

普段は、各分団ごとの消防訓練や、分団の消防車による広報活動や、年に1～2度は、各消防署区域で分けられている方面隊ごとの訓練もあります。

ちなみに、私の所属している雄湊分団は、第一方面隊第三中隊になります。

その他に、数年に1回輪番制で行われる泊まり込みの研修もあります。

今回は、その研修について書かせていただきたいと思います。

その研修とは、
【消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程・分団指揮課程・消防団員指導員研修】という何とも長い名前の何の研修や思いますが、要は、3つの研修を、一泊二日で全てやってしまおうという欲張りな研修なんです。

団員の皆さん普段は、各々仕事しながらの活動のため、度々仕事を休んで研修ともいかずこうゆう形を、とっているそうです。（納得）

この研修は、和歌山県内の市町村の分団から数名ずつが和歌山市加太の和歌山県消防学校に集まって行われました。

和歌山市から那智勝浦町までの分団から27名が参加しました。

幹部研修のため誰でも参加可能ではない為か年齢も40歳以上の方々でした。

ただ40代や50代の分団長もおられ、以前よりも若返りがされているのは、現場重視の観点からは、うれしい気持ちにさせてくれます。

長々と説明していましたが、ここから研修の話をさせていただきます。

私も消防団に入団し、26年になり、その間色々な研修を受けてきましたが、今までと大きく変わったと感じたことが、現場を想定した実技研修が多くなったようで実際に機器を操作したり車両（消防車や救急車）に乗車したりと普段の分団の訓練ではできないが、現場で必要な経験ができるようになったと感じた非常に有意義な時間でした。

写真の体育館での、人命救助の訓練で、これは分団員でなくても経験したことがある方も多いと思いますが、訓練機材が多いので少人数に分かれて行えるため今までより何回も心臓マッサージやAEDの操作を行えるのでしっかりと身に付くように思いました。

他にも放水実技の研修もありましたが、それは次回として、今回一番に印象的であった研修が、写真にある洪水地域でのボートを使った救助訓練でした。

このような訓練設備が整っている事も、いいなぁと率直に思いました。ただ、いざこの研修が始まってみると、見ると実際するのとでは大違いで、写真では、何気なく訓練池の中を歩いているように見えますが、池の中には、古タイヤやコンクリートの固まりなど現場をイメージさせるための障害物がどっさり、何度も足を取られ転びそうになりながらボートに捕まって必死に歩きました。ほんまは自分たちが救助されてるのかと錯覚するようでした。

それ以上に大変だったのは、水圧で足が締め付けられていることでした。

最初は、マッサージチェアでマッサージされてるようで逆に気持ちいいぐらいに感じてましたが、それもつかの間、締め付け続けられると疲労感で足が動かなくなりさらに、冷えが追い討ちかけるのです。写真でもわかるように訓練用池なので、そう大きくないにもかかわらず数分で疲労感でいっぱいの状態になってしまいました。

こうゆうことは、経験してみないとわからないので、貴重な経験となりました。

今回2つの研修内容を紹介させていただきましたが、どちらも有意義なもので可能であれば全ての分団員さんに、経験してもらいたいと思いました。

まず、雄湊分団全員に受けてもらえる方法がないかと考えながら消防学校からの帰り道、車を走らせました。

結びに　全国的に消防団員の減少が止まりません皆様　是非とも消防団に入団お願いします。

以上です。

編集後記

あさもをご覧頂いた方々、あけましておめでとうございます。
年末からコロナ感染者の増加や物価高騰など何かと重苦しい感じですが今年は、【兎年】ピョンピョンと軽快なフットワークでがんばりたいものです。

建築士事務所　附録あさも　1・2月号　VOL. 42 No.371号
令和5年1月15日発行（隔月1回15日発行）
一般社団法人　和歌山県建築士事務所協会
会 長　尾添　信行
〒640-8045　和歌山市ト半町38（建築士会館3Ｆ）
ＴＥＬ　073（432）6539
ＦＡＸ　073（432）6559
■ ホームページアドレス　https://www.w-aaf.or.jp/
■ メールアドレス　info@w-aaf.or.jp

広報・編集委員会
・担当副会長　川　宗一
・委員長　辻　則明
・委員
橋本　雅史・梶本　幸嗣
北山　晴造・島　桐子
堀田　貴章・井上　貴士
宮本　英士

事務局
前田　俊紀・米良　淳
西野　吏麻